

---

# **\* \* 近い空 \* \***

すもも

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

＊＊近い空＊＊

### 【Nコード】

N7767E

### 【作者名】

すもも

### 【あらすじ】

私は死んだはずの彼氏とキスをした・・・それは一瞬の出来事で、私はすぐにこちらに戻された・・・。

「きゃああああッ!」

・・・ズドン!!

・・・目を開くと、そこには、もっているはずのない人がいた。

「ちあき 智明・・・？」

綾瀬亜湖。・・・17歳の少女には、何が起きるのたかまったく理解できなかった。

いつもと変わらない町の風景、しかし、目の前には、もういないはずの人。

「嘘でしょ・・・智明!!」

何が起きたのか、何故ここに智明がいるのかなんて、もはやどうでもよかった。

ただ、また会えたことが嬉しくて。

亜湖の眼からは大粒の涙が零れた。

必死に抱きしめる。

また、会えなくなる気がして。

「智明・・・智明い・・・！ホント、会いたくて・・・私、もう・・・」

・・・一年前、智明は死んだ。

病気だった。日に日に衰弱する智明を、私はただそばで励ましてあげることしかできなかった。

智明が死んでから、私はずっと屍のように生きていた。

完全に色を失っていた。

一体どれくらい泣いたことが。

もう会えないなんてことはわかっているはずなのに。

・・・だから、これはきつと夢なんだ。

私の夢だ。

「・・・もう、夢でもいい。」

亜湖は力いっぱい智明を抱きしめた。

「お願いだから、・・・どうか、覚めないで。」

「ずっと、この夢の中にいさせて・・・」

『亜湖、まだ駄目だ。お前はまだ生きるんだよ。』

「・・・？どどういう意味？」

そついうと智明は少し悲しい顔をして、空を見上げた。

『オレだってなア、寂しいんだよ。ただ、上からお前のことを見守ることしかできねエ。』

「智明・・・？」

『オレは待つ。・・・ずっと、その時が来るまで。』

「・・・何？何を言ってるの！？」

『お前はまだこっちに来んじゃねーよ。』

「待つて！私、ずっと智明と一緒にいる！！・・・智明のいない世界なんて、もう・・・」

・・・亜湖の唇に、柔らかく、温かいものがあたたった。

智明は顔を真っ赤にしながら言った。

『・・・超遠距離恋愛って、ちょっとドキドキしね？』

・・・だんだん視界が暗くなった。そして、私の意識はそこで途切れた。

でも、途絶えつつある意識の中で、かすかに聞こえた。

『愛してる』

「亜湖！・・・亜湖！」

「お姉ちゃんッ」

「亜湖・・・目エさましてよう・・・。」

亜湖は静かに目を開いた。

「あ・・・亜湖!!!!」

「亜湖!!」

「お母さん・・・?みんな・・・。ここは・・・。なんで私病院に?」

「お姉ちゃんの馬鹿!自殺なんてしないでよあ・・・!」

・・・自殺・・・

そっか、私、屋上から飛び降りて・・・。それから・・・

「ああッ！ 智明！！！！ 智明は・・・。」

・・・

やっぱりあれは夢だったの？

でも・・・

亜湖は自分の手を唇に当てた。

「……夢じゃない。」

亜湖はそう言うと、ベッドから飛び降り、空を見上げた。

「……なんだ、近いじゃない、私たちの距離。」

手を伸ばせば届きそうな気がした。

……智明。

「私も、愛してる……。」



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7767e/>

---

＊＊近い空＊＊

2011年1月16日05時15分発行